

HELLO!!!

冬

◎外国語指導助手
パブロ・ショーペン
Pablo Shopen



とうとう、私と家族は初めて日本の冬を経験しました。初めて日本式のクリスマスと正月を祝いました。日本の南部にある四国がこんなにも寒いとは夢にも思いませんでした。

実のところ、私の子どもたちは内子町に来るまで一度も雪を見たことがありませんでした。だからクリスマスに雪が降ってきたときは、とてもクリスマスらしいと感じました。私たちはためらうことなく服を着込んで外へ飛び出し、新雪を満喫したのです。

西洋のほとんどの国にとってクリスマスは最も重要な祝日です。でも南半球では、「ホワイトクリスマス」という一般的なイメージは当てはまりません。オーストラリアで12月というと真夏になります。クリスマスは夏休み中のさまざまな祭りなどで忙しいなかに行われます。

オーストラリアのクリスマスは、日本のお盆のように国中から家族が集まってきます。多くの人が家族と再会するために長い距離を旅しますが、オーストラリアくらい国土が広大になると、移動は一大事です。例えば、車でパースからシドニーまで行こうとすると、5日はかかってしまうんです！

どうにか家族が集まると、プレゼントを交換したり、ごちそうを食べたり飲んだりします。でも気

温が高いので、クリスマスにはつきものの伝統的な七面鳥の料理は、あまり人気がありません。代わりに、オーストラリアの気候にふさわしい料理が準備されます。最近では野外でのバーベキューがよく行われ、コールドミート(冷製肉)やサラダなどがよく作られています。暑い毎日を涼しく過ごすために、人々はビーチで泳いだり遊んだりします。「サーフィン・サンタ」の伝説は、こんなところから生まれたのかもしれない。

正月は、クリスマスに比べるととても静かで、若者にとってはパーティーを開く機会になっています。私たちにとって、家族を中心とする日本の正月を経験できたことは、とても貴重でした。

年越しそばとおせち料理を食べた後、神社へ初詣に行きました。私は去年の秋祭りにその神社で獅子舞を踊ったので、そこへ行くの

はとても特別な気持ちでした。

元旦を過ぎて、もう少しだけ雪を見たいと思い、私たちは小田深山へ行くことにしました。小田の街を過ぎて山あいに入ったところで、白い雪に覆われた山頂が目の前にそびえ、あまりの美しさに思わず息をのみました。深山への狭い山道に車を向けると、松の木の枝や葉に雪が降り積もって、それはそれは美しい光景でした。

雪をかぶった小田深山がすぐ近くにある一方で、美しい岩礁を持つ愛南町にも行けるなんて、内子町はなんて素晴らしい場所なんだろうと思います。

私の家族にとって、初めてのホワイトクリスマスはとても特別なものとなりました。この思い出は、ずっと私たちの記憶に残るでしょう。今は、春の訪れを楽しみに待っています。



外国語講座の受講生の皆さんとも、一緒にクリスマスを祝いました